

平成 26 年度第 2 回大阪府医療対策協議会議事録（概要）

日時：平成 27 年 3 月 27 日（金）14 時 00 分から 14 時 50 分

場所：大阪赤十字会館

【議事次第】

議題 1

- 平成 27 年度 大阪府の医師確保に関するおもな取り組みについて
（地域医療確保修学資金等貸与事業 等）

議題 2

- 臨床研修医の募集定員の決定方法について

議題 3（報告事項）

- 大阪府地域医療再生計画の進捗状況について

【出席委員】（五十音順）

- 大阪市立大学大学院医学研究科長兼医学部長－荒川委員
- 近畿大学医学部長－伊木委員
- 大阪府私立病院協会会長－生野委員
- 大阪府自治体病院開設者協議会会長（吹田市長）－井上委員
- 大阪府歯科医師会会長－太田委員
- 大阪府公立病院協議会会長（八尾市立病院長）－佐々木委員
- 大阪府医師会副会長－茂松委員（大阪府医療対策協議会会長）
- 大阪府立病院機構理事長－遠山委員
- 大阪府病院協会副会長－福原委員
- 関西医科大学理事長・学長－山下委員

【欠席委員】（五十音順）

- 大阪大学大学院医学系研究科長兼医学部長－金田委員
- 大阪医科大学学長－竹中委員
- ささえあい医療人権センター COML 理事長－山口委員

【関係者】（五十音順）

- 大阪医科大学附属病院病院長－黒岩氏

【議事概要】

◆議題 1 平成 27 年度 大阪府の医師確保に関するおもな取り組みについて◆

－事務局からの説明

- 資料 1 に基づき、医師確保に関するおもな取り組みについて説明。

－委員からの意見

特になし。

◆議題2 臨床研修医の募集定員の決定方法について◆

－事務局からの説明

- 資料2に基づき、募集定員の決定方法について説明。
- 大阪府激変緩和措置、評価項目について伺う。

－委員からの意見

- 大阪府激変緩和措置について
特になし。

○評価項目について

山口委員（事前意見）

- ・評価項目見直しにおいて、学会発表を地方会以上にすることは良い。

山下委員

- ・激変緩和措置と評価項目の設定は、公平性と透明性を担保したうえで、大阪府でできる限りの努力をされているのが見て取れるので、評価をしたい。
ただし、地域医療への貢献という意味で、医師派遣の評価において、大学病院が分院に医師を派遣していることも関連病院への医師派遣と同様に配慮いただきたい。
分院は関連病院と同様に地域医療への貢献をしている。

荒川委員

- ・評価項目からメンター制度を外すことについて確認したい。
専門医制度においては、メンター制度を取り入れる方向で検討されている。
臨床研修医は、ベースキャンプがなくて各科をローテーションしていくので、決まった人が年間を通して面倒を見てあげるといのは大事だと思う。
確かに、メンターと研修医の相性の問題も課題としてはあるのだが。
メンター制度を導入しているところとそうでないところの検証はできているか。
- ⇒（事務局）
- ・メンター制度を導入しているところとそうでないところの比較検証は行っていない。
制度を先行的に導入していた昨年度の最終配分調整先病院にヒアリング調査したところ、制度運用が難しいとのご意見があった。
それらの病院では、医師のメンターだけではなく、事務方なども含めて様々に面倒を見る等の配慮をされていた。
メンター制度の評価を残すと、全病院へ一面的なメンター制度導入の誘導となってしまう恐れがあるため、様々な工夫の余地を残す誘導のあり方を考えるべきとして、今回は評価項目から削除してはどうかと提案したところ。
メンター制度自体は良いと思うが、すべての病院で対応できる訳ではないのかもしれないとも考えている。

茂松会長

- ・メンター制度が全体に取り入れられていないので比較しにくいということですね。
今回の見直しは、それよりも指導医がきちりと教育にあたっているかということの評価しようということですね。
もちろん、メンター制度があった方が、研修医にとっては目標を持ってローテーションしやすいとは思う。

茂松会長

- ・事務局から提案のあった『大阪府激変緩和措置』と『評価項目』の見直しについて了解をいただけるか。
- ⇒各委員、異議なし。

◆議題3（報告事項） 大阪府地域医療再生計画の進捗状況について◆

－事務局からの説明

○資料3に基づき、大阪府地域医療再生計画の進捗状況について説明。

－委員からの意見

特になし。